

# 2013年 年頭所感

健育会グループ 代表  
竹川 節男

## 明けましておめでとうございます

健育会グループは、1953年の竹川病院開設からはじまり、本年で創立60周年を迎えました。その年頭にあたり、私は原点を再確認しています。

60年前と言えば、戦後10年にもならない混乱の頃でした。先代の理事長から「竹川病院開設当時、医療を求めて患者さんが病院前に毎日並んでいた」という話を聞いた事があります。保険もなく、裕福な方もいれば、金銭的に厳しい方も沢山いました。お金を払えない方は自分のところで採れた野菜を持ってきたり、それこそ何も払えないで帰って行く方もいる中、「目の前の患者さんを救う」という信念のもと、診療を続けたと言う話を聞いています。そして60年が経ち、私たちを取り巻く環境は大きく変化しましたが、医療に携わる者として、「目の前で救いを求めている患者さんの役に立ちたい」という原点は、今も脈々と受け継がれており、「時代は変われど、原点は変わらず。」と実感しています。



初代理事長 竹川不二男



患者さんが外まで並んでいる当時の竹川病院

創立後60年が経過し、この原点について現代にあてはめて考えてみると、最も大きな変化は「チーム医療」という視点です。現代は医療技術も進歩し、患者さんの価値観も多様化しています。かつては、医師一人の力と使命感で医療を支えてきましたが、今は「多職種で構成されるチーム」で医療を提供することが必要なのです。

昨年、日本の医師で初めてノーベル賞を受賞した山中伸弥・京都大教授が、若い研究者に対して「Vision and work hard」という話をされたことをテレビで拝見し、感銘を受けました。

私は創立60周年を迎えるにあたり、今年のスローガンを「Vision and Work Together!」にしたいと思います。



今年は、この「Vision and Work together!」のスローガンをもとに、健育会グループのビジョン、それぞれの病院・施設の理念の実現にむけて共に歩んでまいりましょう。